

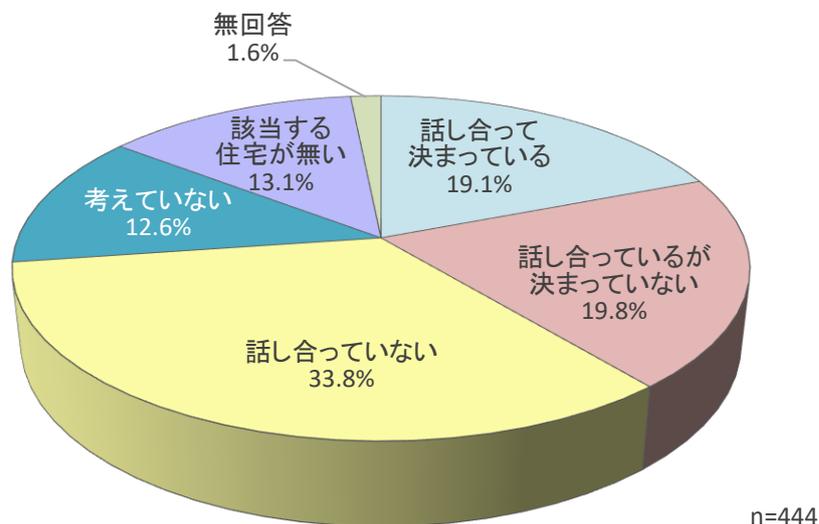
## 9. 空き家に関する意識について

(1) 所有している（将来相続する可能性のある）住宅の今後について

◇ 「話し合っていない」が3割半ば

問 2 1	あなたが所有している、または将来相続する可能性のある住宅の今後について、ご家族の間でどのような準備をしていますか。	(○は1つ)	n=444
1	話し合っていて決まっている		19.1%
2	話し合っているが決まっていない		19.8%
3	話し合っていない		33.8%
4	考えていない		12.6%
5	該当する住宅が無い		13.1%
	(無回答)		1.6%

<図IV-9-1>全体



所有している（将来相続する可能性のある）住宅の今後については、「話し合っていない」が33.8%、次いで「話し合っているが決まっていない」が19.8%であった。（図IV-9-1）

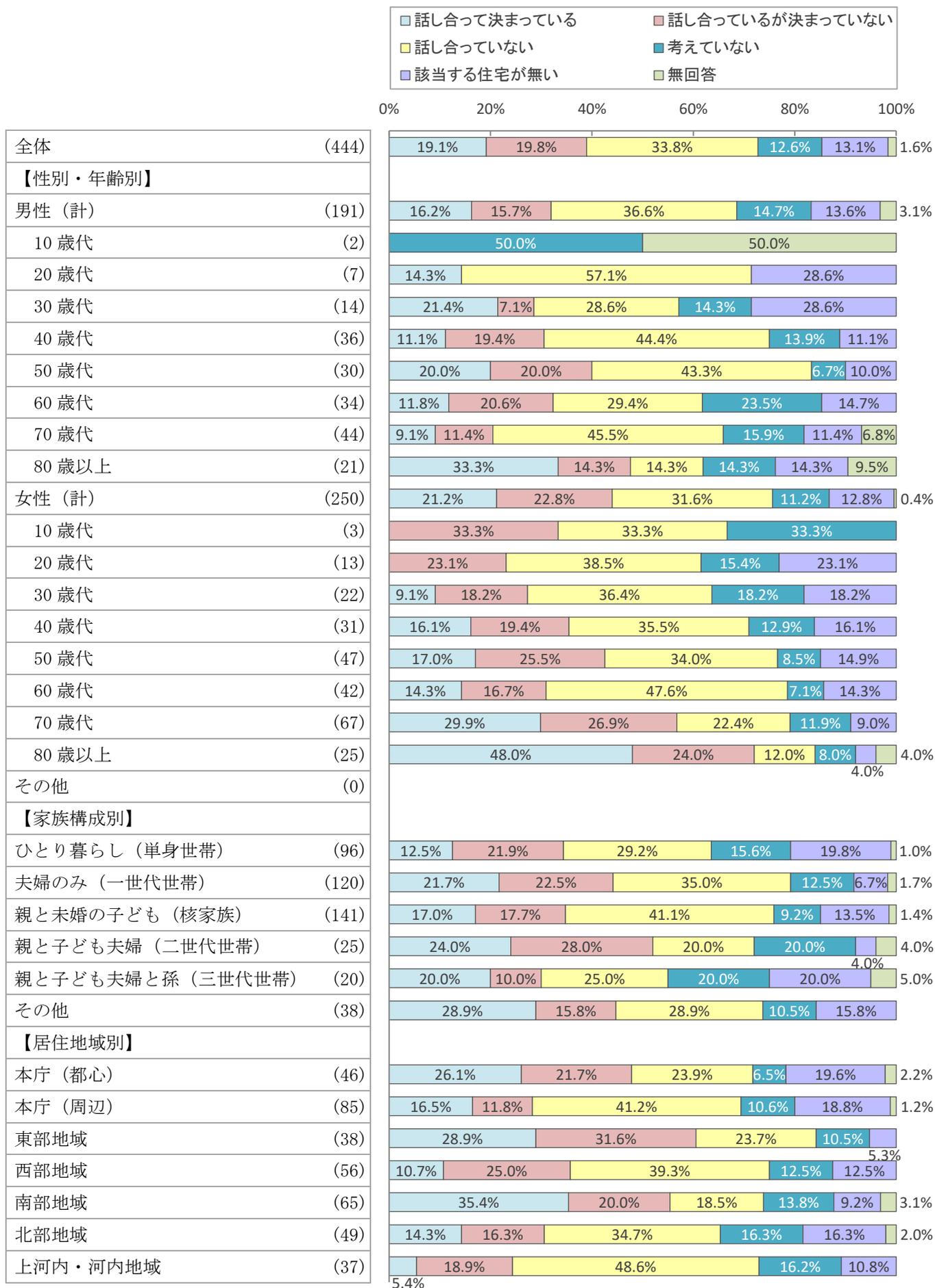
<参考>

性別・年齢別でみると、「話し合っていない」は<男性 20 歳代>が57.1%で最も高く、次いで<女性 60 歳代>が47.6%であった。「話し合っているが決まっていない」は<女性 10 歳代>が33.3%で最も高く、次いで<女性 70 歳代>が26.9%であった。（図IV-9-2）

家族構成別でみると、「話し合っていない」は<親と未婚の子ども（核家族）>が41.1%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が35.0%であった。「話し合っているが決まっていない」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が28.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が22.5%であった。（図IV-9-2）

居住地域別でみると、「話し合っていない」は<上河内・河内地域>が48.6%で最も高く、次いで<本庁（周辺）>が41.2%であった。「話し合っているが決まっていない」は<東部地域>が31.6%で最も高く、次いで<西部地域>が25.0%であった。（図IV-9-2）

<図IV-9-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

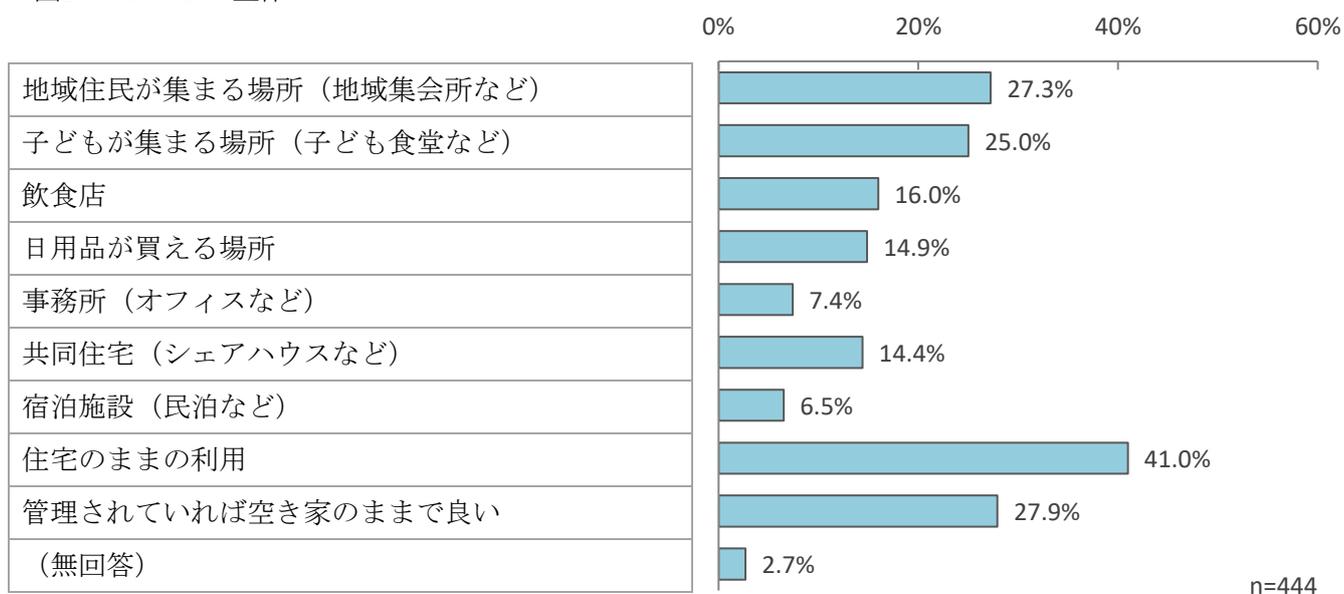


## (2) 空き家の活用について

### ◇ 「住宅のままの利用」が約4割

問22 近所の空き家が、どのように活用されると良いと思いますか。		(○はいくつでも)
		n=444
1	地域住民が集まる場所（地域集会所など）	27.3%
2	子どもが集まる場所（子ども食堂など）	25.0%
3	飲食店	16.0%
4	日用品が買える場所	14.9%
5	事務所（オフィスなど）	7.4%
6	共同住宅（シェアハウスなど）	14.4%
7	宿泊施設（民泊など）	6.5%
8	住宅のままの利用	41.0%
9	管理されていれば空き家のままで良い	27.9%
	（無回答）	2.7%

<図IV-9-3>全体



空き家の活用については、「住宅のままの利用」が41.0%、次いで「管理されていれば空き家のままで良い」が27.9%であった。（図IV-9-3）

#### <参考>

性別・年齢別でみると、「住宅のままの利用」は<男性20歳代>が71.4%で最も高く、次いで<女性10歳代>が66.7%であった。「管理されていれば空き家のままで良い」は<男性80歳以上>が47.6%で最も高く、次いで<男性40歳代>が44.4%であった。（図IV-9-4）

家族構成別でみると、「住宅のままの利用」は<その他>を除くと、<夫婦のみ（一世帯世帯）>が46.7%で最も高く、次いで<ひとり暮らし（単身世帯）>が41.7%であった。「管理されていれば空き家のままで良い」は<その他>を除くと、<夫婦のみ（一世帯世帯）>が35.0%で最も高く、次いで<ひとり暮らし（単身世帯）>が29.2%であった。（図IV-9-4）

居住年数別でみると、「住宅のままの利用」は<出生時から>が42.6%で最も高く、次いで<20年以上>が42.3%であった。「管理されていれば空き家のままで良い」は<10年以上～20年未満>が43.3%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が42.3%であった。（図IV-9-4）

<図IV-9-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別



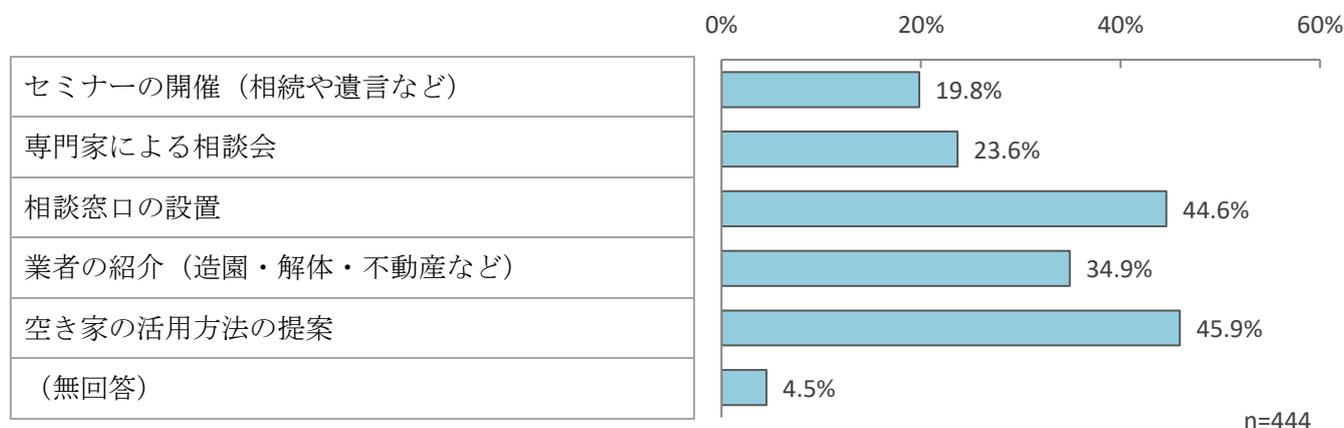
### (3) 宇都宮空き家会議にして欲しい取組について

#### ◇ 「空き家の活用方法の提案」が4割半ば

問23 本市は、官民連携組織「宇都宮空き家会議」を設立し、空き家の所有者と利用希望者をマッチングする事業や空き家を活用して地域集会所の整備支援などに取り組んでいます。今後、宇都宮空き家会議にどのような取組をして欲しいですか。(〇はいくつでも)

	n=444
1 セミナーの開催（相続や遺言など）	19.8%
2 専門家による相談会	23.6%
3 相談窓口の設置	44.6%
4 業者の紹介（造園・解体・不動産など）	34.9%
5 空き家の活用方法の提案	45.9%
(無回答)	4.5%

#### <図IV-9-5>全体



宇都宮空き家会議にして欲しい取組については、「空き家の活用方法の提案」が45.9%、次いで「相談窓口の設置」が44.6%であった。(図IV-9-5)

#### <参考>

性別・年齢別でみると、「空き家の活用方法の提案」は、<男性10歳代>が100.0%、次いで<女性30歳代>が68.2%であった。「相談窓口の設置」は、<女性10歳代>が66.7%で最も高く、次いで<男性80歳以上>が61.9%であった。(図IV-9-6)

家族構成別でみると、「空き家の活用方法の提案」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が56.0%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども（核家族）>が51.1%であった。「相談窓口の設置」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が52.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が46.7%であった。(図IV-9-6)

居住年数別でみると、「空き家の活用方法の提案」は<5年以上～10年未満>が69.2%で最も高く、次いで<10年以上～20年未満>が56.7%であった。「相談窓口の設置」は<20年以上>が46.9%で最も高く、次いで<10年以上～20年未満>が46.7%であった。(図IV-9-6)

<図IV-9-6>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

